

第3153回
例会本日の
プログラム(繰下げ移動夜間例会) 職場訪問
職業奉仕委員会 18:00~(於)北海道庁旧本庁舎 赤れんが庁舎

新会員卓話 氏家利道 会員

本日は卓話の機会をいただきましてありがとうございます。昨年夏に入会させていただきました氏家利道と申します、よろしく願いいたします。

本日は、入会時にも近寄ったご挨拶をいたしました。が、改めて私の会社を紹介させていただきます。

株式会社中央ネームプレート製作所と言いまして名前の通り、名札・サインプレート・銘板等の製造を生業として1961年に私の父が始めた会社です。現在社員数140名、男女比率は6:4の精密板金部品等の製造を生業にしている会社です。

事業内容が社名と合致していない点をご説明致しますと、20年ほどは、イメージ通りのサインプレート・銘板等を製作しておりましたが、会社の第一の転機としましては、1985年に石狩の工業団地にプリント配線板製造専用工場を稼働した時になります。プリント配線板とネームプレートでは、一見異分野のものづくりに思われるかもしれませんが、技術的には銘板制作時に行うエッチング・メッキ・シルク印刷加工等の技術を応用した物でして、全くゼロから立ち上げた訳では無いと聞いております。ただ、業種的には既存のお取引先とは全く異なる会社を相手にしなければならなかったため、新規顧客の獲得にはかなり力を入れなければならなかったと聞いております。

第二の転機としましては、2000年に電気・電子機器等専用の薄物板金部品を製造する工場を建てた時です。プリント配線板の受注に伴って配線板を取り付ける際に必要な小さな金属部品や配線等を同時に受注することが多くなってまいりました。当初は、外注したり、小さな加工機械を購入して対応してまいりましたが、徐々にそちらの要望が多くなってまいりました。また、プリント配線板業界では安価な製品を必要としていた為、製造を海外に移して行く会社が多くなって来ていて国内製造数が斜陽に成り、将来性に疑問が生じるようになってきた時期でもありましたので、思い切って、板金専用工場を建てました。

今では、売上の6割近くが板金加工品で弊社の稼ぎ頭になっておりまして、主に半導体製造機器や防衛装備品の通信用機器などを製造する会社に納めております。

第三の転機といたしましては、2020年に航空機内装部品を製造する工場を建てた時です。北海道では航空機内装品を扱っている会社が無く、当初は事業として

成立するのかどうか非常に悩みましたが、2019年から本格的に製品納入が始まって、顧客から40年先までの航空機製造数を聞いて、弊社が必要とされていると判断して思い切って専用工場を建てました。が、建てた途端にコロナが大流行して世界レベルで飛行機自体が飛ばなくなってしまいました。ボーイング社やエアバス社も当然のごとく各エアライン様からの新造機の製造をストップする旨の連絡を受けておりましたので、弊社にも影響が及びました。丸々3年、開店休業状態が続いて如何したものかと頭を抱える事態になってまいりました。事業を撤退することも考えましたが、幸い、前述の半導体関連や防衛装備品関連が好調でコロナ過でも収益は出ておりましたので何とか継続してまいりました。そして、現在、航空機業界は失われた3年間を取り戻すべく、これまでの生産能力を2.5倍に引き上げる要請がサプライヤー全体に降りて来ています(メーカーから)。

と言う事で、受注の目途が立ったことで何とか航空機部門を新たな柱に育てて行こうと心新たに展開している最中でございます。

個人的には、60才を過ぎて出張等も減らしていきたいのですが、前述の航空機部門を継続する旨を社員に公言してしまいましたので、言い出しっぺの私が率先して打合せに行く事になってしまい、逆に出張が増えてまいっております。

と言う事で、中々例会にも出れない日が続いておりますが、時間が合えば、奉仕を続けてお役に立てればと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



■本日のロータリーソング

なし

2025-2026年度

国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう